

令和7年度 第1回博物館協議会 (会議録)

日 時 令和7年6月8日(日) 午後2時00分～午後3時

場 所 安城市歴史博物館2階講座室

出席委員 高山 忠士 会長

永井江美子 副会長

奥川 正規

小早川道子

内藤 路子

事務局 石川 良一 教育長

加藤 浩明 生涯学習部長

朝岡 一秀 文化振興課長

小田 健二 安城市歴史博物館館長

野上真由美 学芸係長

後藤麻里絵 主査

千田 佑香 主事

本部はる香 主事

西村 隼 主事補

小野 麻紀 指定管理者

安祥文化のさと地域運営共同体総括責任者

井上宗一郎 指定管理者

安祥文化のさと地域運営共同体副総括責任者

次 第

1 委員辞令公布

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 令和6年度事業報告

(2) 令和7年度事業計画(案)

4 その他

協議事項

(1) 令和6年度事業報告

事務局	【令和6年度事業報告について説明】
指定管理者	【令和6年度事業報告について説明】
会長	4ページの収集・保管活動について、 多くの寄贈・寄託があり、それは博物館の仕事の柱のひとつではあるが、別の重要な業務である調査研究については、具体的な姿として見えてこない。以前は、各学芸員のその年の調査テーマ等も協議会で報告があった。 収蔵資料の貸出状況について、具体的にはどこに貸出しをしたのか。
事務局	安城高女学報は新美南吉記念館（半田市）、聖徳太子絵伝模写は MIHO ミュージアム（滋賀県）、人面文壺形土器と人面文球形土製品は豊橋市美術博物館。ハツ塚古墳出土内行花文鏡は寄託元が祭礼に使用するための貸し出し。
会長	全国的に収蔵庫の不足が問題になっているが、民俗資料については、収蔵場所がないのを理由に収集できないで消えていくことが心配。文化財係とも連携して、資料が散逸しないようにしてほしい。

(2) 令和7年度事業計画

事務局	【令和7年度事業計画（案）について説明】
指定管理者	【令和7年度事業計画（案）について説明】
委員	27ページの収蔵品整理5000点の内訳を教えてください。
事務局	資料の中心は古文書や近代資料。毎年民具は100点程度。考古資料は文化財係の埋蔵文化財センターが所管している。 開館から30年以上の蓄積により、未整理の資料がまだまだあるので順次整理していきたい。
会長	新編安城市史作成時に多量の資料を調査したその蓄積があると思われる。 刈谷市は公開データベースがあり、一般の人でも閲覧可能だが、本館は一般の人が検索・閲覧できるシステムはできないのか。
委員	西尾市は、岩瀬文庫と地方文書とで取り扱いを分けており、地

	方資料はまだ整理段階。問い合わせがあれば対応するようにしている。
事務局	閲覧する場合は、出納の場所や専門職員の配置、システム、規則などが必要であるが、現在当館では対応ができていないので、すぐに一般閲覧はできない。
会長	将来的にはできるように考えていただけるとよい。
事務局	博物館法の改正で注目が集まっている分野なので、今後整備できるようにしたいとは考えている。
委員	29ページのナイトミュージアムについて具体的に何をやるのか。
指定管理者	各係の特色を活かして、展示解説、土器炊飯やアート作品制作などを実施する。展示とともに各イベントを楽しんでもらいたい。
事務局	開館延長し、日中来館できない人にも博物館を楽しんでもらう企画である。
委員	夜ならではの企画をやってほしい。

4 その他

委員	コミュニティスクールで地域の人と関わっていくと、さまざまな歴史的・文化的な掘り起こしがある。 先日、小学校で人間国宝の野村峰山氏の尺八を生で聞く機会があった。音色がすばらしく子ども達も大変興味を持ってくれた。本物を見る大切さを実感したできごとだった。 見学学習や歴史を用いた授業など今後とも歴史博物館と一緒に活動し、実物を体感する機会としたい。
----	---